

## 4. 事後調査の結果に基づき必要な環境保全措置内容と対応

### 4-1. 動物（哺乳類：カヤネズミ）の供用後調査

#### (1) 実施目的

本調査は、供用後の福所江大橋周辺における重要な動物（カヤネズミ）の生息状況を把握する目的で実施する。

表 4-1 評価書における動物（哺乳類：カヤネズミ）の環境保全措置の検討結果

実施主体	実施内容		保全措置の効果	効果の不確実性	他の環境への影響
	種類	位置			
佐賀県	漏れ光の低減（照明の工夫）	実施区域上に設置する全ての照明灯具を対象に、道路構造や施工性を考慮して、専門家の意見を聞いて決定します。	夜間の照明を極力低減し、光によるカヤネズミの行動や繁殖への影響を低減します。	特にありません。	特にありません。

#### (2) 作業手法等

##### 1) 現地調査

現地調査は、フィールドサイン法によるカヤネズミの営巣跡の確認を冬季に行う。

##### 2) 環境保全措置の実施

現地調査の結果、道路の存在による影響を受けている可能性があるると判断された場合には、必要に応じて環境保全措置を検討する。

### 4-2. 植物（コイヌガラシ等）の供用後調査・工事中調査

#### (1) 実施目的

本調査は、供用後の芦刈 IC～芦刈南 IC 区間と、工事中の福富北 IC～福富 IC 区間における重要な植物（コイヌガラシ、カワヂシャ、コギシギシ）の生育状況を把握する目的で実施する。また、福富北 IC～福富 IC 区間に生育する重要な植物で、工事による改変の影響を受ける可能性がある種については、影響を回避・軽減するために、必要に応じて種子採集等の環境保全措置を実施する。

「一般国道 444 号佐賀福富道路（有明海沿岸道路）環境影響評価書」（平成 18 年 5 月、佐賀県）において、重要な植物「コイヌガラシ」、「カワヂシャ」に関する環境保全措置の検討結果が取りまとめられている。

コギシギシは、本事業における環境影響評価書作成にあたって実施された事前調査では、計画路線上に本種の分布は確認されていなかったが、平成 24 年度に実施された工事前調査において、計画路線上に多数分布することが確認されたため、調査・保全対象種として追加した。

表 4-2 評価書における植物（コイヌガラシ・カワヂシャ）の環境保全措置の検討結果

実施 主体	実施内容		保全措置の効果	効果の不確実性	他の環境への影響
	種類	位置			
佐賀県	移植	対象種の確認地点が近接し、又は改変される土工部を基本とし、専門家の意見を聞きながら移植候補地を選定する調査を実施し、決定します。	生息地の消失を代償します。	移植先の選定調査を行い、活着までモニタリングを行うことによって確実性が高くなると考えられます。	移植先の生物相を攪乱するおそれがあります。

## (2) 作業手法等

### 1) 現地調査

現地調査は、重要植物の開花期にあたる 4～5 月に実施する。

### 2) 環境保全措置の実施

現地調査の結果、工事による改変の影響を受ける可能性があるとして判断された重要な植物については、必要に応じて種子採集等の環境保全措置を実施する。

### (3) その他留意事項

現地調査では、サデクサ（佐賀県 RDB：準絶滅危惧）等のその他の重要な植物の確認にも留意する。